

座標: 北緯35度2分54.6秒 東経138度56分17.6秒

ウィキペディア

伝堀越御所跡

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

伝堀越御所跡（でんほりごえごしょあと）は、静岡県伊豆の国市寺家にある、国指定の史跡である。

室町時代に鎌倉公方として下向した足利政知が関東に入れず、ここに館を構えたとされる。関東にいた足利成氏が古河で公方を称したため（古河公方）、堀越公方と呼ばれた。

字名にはないが、地元ではこの付近を「堀越（ほりごえ）」と呼んでいる。発掘調査後埋められて、2007年現在では更地となっており、説明看板が建てられているのみで、かつての様子を伺い知るような状況にない。一部は伊豆の国市の土地となっているが、周辺は私有地や住宅地であり、本格的な整備や調査が実施できない状態とみられる。2008年3月、新しい説明板が伊豆の国市によって設置され、発掘調査時の遺構写真を示して状況を説明している。

発掘調査

一部の地域の発掘調査が過去に実施されているが、池の跡が検出されたのみで、建物跡などは不明である。「伝堀越御所」としているように、「ここが堀越御所であった」という確証は得られていないようである。近には北条氏邸・円成寺跡があり、その関係も考えられないわけではない。とくに室町時代には円成寺が近接することになる。

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=伝堀越御所跡&oldid=52649527>」から取得

最終更新 2014年8月21日 (木) 08:35（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。